

〔組織の概要〕(企業用)

会 社 名	合資会社 環境ポートフォリオ研究所		
所在地	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前二丁目 34 番 20 号 TEL:03-3470-0717 FAX:03-3470-0717 E-mail:		
ホームページ			
創業年月	年 月	設立年月	2002 年 12 月
代表者	代表者 西岡 信彰	担当者	西岡 伸彰 (ペンネーム西岡 弘観)
資本金	2 万円	従業員数	0 名
沿 革			
事業概要	環境の調査、解析およびその情報提供 イベントの企画 他		
環境に関する 活動実績	情報提供		
売上高 (13 年度)	なし 円		

団体・企業名	環境ポートフォリオ研究所	担当者名 西岡 伸彰 (ペンネーム 西岡 弘観)
--------	--------------	-----------------------------

〔政策提言の内容〕

* 政策分野・手段の番号は参考資料をもとにお書きください。

政策のテーマ	「ワールド総合環境大会（仮称）」開催の構築と日本からの提唱（案）		
政策の分野	番号	9	環境パートナーシップ（番号1～9までにも該当）
政策の手段	番号	9	組織・活動（1～14までにも該当）
政策の目的			
環境問題にとりくむ地球規模の協力体制			
提言を行うこととなった背景および現状の問題点			
情報量の膨大化と専門知識の細分化のもとで情報を相互に公開し、何が優れているかを選抜・提示し又、少数意見に対してもこれを選び出し、イベントやメディアでこれを広げ、押し進めることが要請されている。			
政策の概要			
（当面の策） 環境（自然環境、社会環境）について、多くの賞がある。これらの賞について、冠主催団体の名称、方法はそのままとし、特別の時期と場をもって、これらの賞が多くの人々の注目を集める仕組みを構築する。 国際博覧会とかオリンピックに際し、「ワールド総合環境大会」を開催し、これらの賞を集めて、一定期間における、4年とか、5年において、改めて、特に選抜されたものを提示するものとする。冠主催団体は自主参加 （将来の策） 例えば、スポーツ競技についてはオリンピックが世界の注目を集めて、普及発展に大きく寄与している如くに、環境に関わる出来るだけ多くの分野・部門を対象として「大会の賞」（冠団体名も可）を設定し、多様な評価で選抜する。			

政策の実施方法と全体の仕組み（必要に応じてフローチャートをつけてください） (1) 当面、国際博覧会において、各主催団体の環境に関する賞の内容と、冠主催団体が一定期間における表彰の賞総計の中から改めて特に選抜した賞を提示する。 (2) 将来、開催委員会の組織化、日本で始めに実施、オープン化 国際会議での日本から提唱、日本に本部設置 (3) ワールド総合環境大会（オリンピックの如くに）開催 希望団体等自主参加、表彰対象は次第に細分化、相互評価での選抜も なお、詳細は理念の設定、評価（環境ポートフォリオの発想）添付資料参照
政策の実施主体（提携・協力主体があればお書きください） （当面）日本国際博覧会協会（僭越ですが提案を予定しています） （将来）「ワールド総合環境大会」委員会の組織化
政策の実施により期待される効果 個人、企業、団体、行政機関、国家等のそれぞれが大きな理念のもとに地球規模の協力体制による取組推進に非常に高い効果が期待される。それは (1) 新たなパラダイム認識、(2) インターネット活用による情報の集積、(3) 参加意識と競争の促進、(4) プラス思考と目標・方向性の明確化(5) ビックイベントと自己実現(6) 税制と低利資金調達(7) 地域主導(8) 評価選択(9) 国際的な環境目標館構築 なお、詳細は添付資料参照
パンフレット等添付資料名 「環境文化の輸出と日本」溝淵清彦 西岡弘観著 月刊誌 政経 平成 12 年(2000)5 月掲載 「都市再生・首都圏居住者への施策」西岡弘観著 月刊誌 現代展望 平成 14 年(2002) 1 月掲載 その他 同趣旨については (1) 平成 8 年(1996.11)地球温暖化問題に関する対策の意見として報告参考資料(0-22)に掲載 (2) 平成 8 年(1996.12)地球環境パートナーシッププラザのホームページ作成に参加 一定期間（1 年以上）掲載 earth.html/www.geic.or.jp 「地球理想環境推進世界大会・環境オリンピック開催をめざして」 「The World Conference for the Promotion of the Earth Utopia」